

大阪市立豊里小学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1. 学校運営の中期目標

【視点：学力の向上】

○平成 27 年度末の学校アンケートにおける「算数の授業はわかりやすい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 80% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

【視点：道徳心・社会性の向上】

○平成 27 年度末の学校アンケートにおける「しっかりとあいさつや返事をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 80% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○平成 27 年度末の学校アンケートにおける「学校のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 80% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

【視点：健康・体力の保持増進】

○平成 27 年度末の学校アンケートにおける「体育の時間や休み時間にしっかりと身体を動かしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 80% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○平成 27 年度末の学校アンケートにおける「給食を残さずに食べている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 80% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点：学力の向上】

○平成 26 年度末の学校アンケートにおける「算数の授業はわかりやすい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 75% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

【視点：道徳心・社会性の向上】

○平成 26 年度末の学校アンケートにおける「しっかりとあいさつや返事をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 75% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○平成 26 年度末の学校アンケートにおける「学校のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 75% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

【視点：健康・体力の保持増進】

○平成 26 年度末の学校アンケートにおける「体育の時間や休み時間にしっかりと身体を動かしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 75% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○平成 26 年度末の学校アンケートにおける「給食を残さずに食べている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を 75% 以上にする。

(カリキュラム改革関連)

3. 本年度の自己評価結果の総括

今年度は、設定した 5 つ全ての年度目標を達成することができた。

中期目標達成にむけ、順調に年度目標をクリアしてはいるが、昨年同様、低学年（1・2・3 年）と高学年（4・5・6 年）のアンケート結果には有意な差が見られる項目があり、単なる発達年齢の違いとみなすことはできず、一考の余地を残している。最終年度を迎える次年度は、しっかりと取り組みの定着を図ることができるような学校運営に邁進する。

大阪市立豊里小学校 平成26年度 運営に関する計画・最終総括(目標別シート)

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標I	達成状況
<p>【視点：学力の向上】</p> <p>○平成26年度末の学校アンケートにおける「算数の授業はわかりやすい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を75%以上にする。</p>	B (カリキュラム改革関連)

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取り組みの進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分：算数科の学力向上】</p> <p>○習熟度別少人数学習の有効活用や一人ひとり児童の理解・到達度に応じた学習課題の提示により、きめ細かい指導を推進するとともに、さんさんプリントやふり返りを実施し、基礎基本の定着を図る。</p>	B
<p>指標 各学年・クラスで児童の実態に応じた算数タイムを週1回継続して行う。</p>	
<p>取組内容②【区分：読解力を含む総合的な学力の向上】</p> <p>○学校図書館の整備に加え、学級文庫を充実させることにより、総合的な学力の礎となる読解力の向上に努める。</p>	B
<p>指標 学級文庫の整備・充実と朝の読書タイムや「読み聞かせ」「ブックトーク」などを工夫して行う。</p>	
<p>取組内容③【区分：授業力の向上】</p> <p>○学年会や教科部会を通して研究を深め、分かりやすい授業の創造を目指す。</p>	B
<p>指標 公開授業・討議会を計画的に行う。各教科の研修会を行う。</p>	
<p>分析及び次年度への改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数タイム等の指導を通して基礎基本の定着が進んだが、継続しての取り組みが必要である。 ・学級文庫の充実を図り、読書タイム等も実施できた。さらに学級文庫の入れ替えをすすめる。 ・計画的に授業力向上の研究をすすめることができた。公開授業のもち方を工夫し、引き続き「分かりやすい授業」を目指して研究・研修の深化を図る。 	

大阪市立豊里小学校 平成26年度 運営に関する計画・最終総括(目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標Ⅱ	達成状況
<p>【視点：道徳心・社会性の向上】</p> <p>○平成26年度末の学校アンケートにおける「しっかりとあいさつや返事をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を75%以上にする。</p> <p>（カリキュラム改革関連）</p> <p>○平成26年度末の学校アンケートにおける「学校のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を75%以上にする。</p> <p>（カリキュラム改革関連）</p>	A

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取り組みの進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分：道徳心・社会性の育成】</p> <p>○各委員会で「あいさつ週間」を実施し、あいさつへの意識を高めるようする。</p>	B
指標 月に1回以上、一週間あたり20人程度参加し、あいさつ運動を実施する。	
<p>取組内容②【区分：豊かな心を育む教育の推進】</p> <p>○めざす子ども像を《豊里っ子宣言》を決め、みんなで学校をよりよくしようとする意識を高める。</p>	C
指標 月に1回以上、児童朝会で、確認するようにする。また、豊里っ子宣言ふり返り週間として、ふりかえりカードで年2回、ふり返りの機会を作る。	
<p>取組内容③【区分：豊かな心を育む教育の推進】</p> <p>○学校経営の重点「豊かな人間性とたくましく生きる力を育てる教育実践を推進する」を受け、鑑賞行事等の情操教育の充実・地域ふれあい活動・清掃活動等、さまざまな体験的学習を重視することで、心豊かに生きる児童の育成を図る。</p>	B
指標 自律心や感受性豊かな心、自他の尊厳を大切にする思いやりの心の育成を目指し、劇の鑑賞行事、地域ふれあい活動・清掃活動、グループによる校外体験学習等をすべての学年において実施する。	

分析及び次年度への改善点
・各委員会で行う「あいさつ運動」が定着してきた。継続してすすめていく必要がある。
・豊里っ子宣言を通して、学校をよりよくしようとする意識づけはできたが、それを行動にうつせる方法を考える必要がある。ふりかえりも計画的に実施していく。
・それぞれの学年に応じた計画を立てて実施できた。また、土曜授業での取り組みをふくめ、地域や保護者とも関わる機会がもてた。

大阪市立豊里小学校 平成26年度 運営に関する計画・最終総括（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標III	達成状況
<p>【視点：健康・体力の保持増進】</p> <p>○平成26年度末の学校アンケートにおける「体育の時間や休み時間にしっかり身体を動かしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を75%以上にする。</p> <p>○平成26年度末の学校アンケートにおける「給食を残さずに食べている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を75%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取り組みの進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【区分：体力向上への支援】	B
○なわとびギネス、耐寒駆け足を通して、休み時間に体を動かす習慣を身につけさせるように促す。	
指標 体力づくりアクションプランの取り組みを計画通りに実践する。	
取組内容②【区分：健康 生活習慣の確立】	B
○手洗い・うがい指導を実践し、健康への関心を高める。	
○給食週間や栄養指導等を通じて、食への関心を高め、食に関する指導を推進する。	
指標 各クラスの年1回の栄養指導、毎日の給食委員会の放送。清潔検査を毎週実施。手洗い・うがいに関するポスター作り。	

分析及び次年度への改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす習慣は身につきつつある。耐寒駆け足の期間が短いので期間をのばすように検討する。一年間を通して子ども達が体を動かす習慣をつけるための取り組みをアンケート等を参考に検討し、実践していく必要がある。 ・取組を通して健康や食への関心が高まった。手洗い・うがい重点週間を設けるなど、手洗い・うがいの指導をさらに徹底していくことも検討する。